

平成30年4月16日

記者発表資料

草津市
滋賀県 共同発信

今月のイチオシ「花と緑の滋賀シリーズ」 草津市の「サラノキ」を発信します

今回は、草津市の水生植物公園みずの森で、日本で初めて開花した「サラノキ」を紹介します。

サラノキとは、「平家物語」の冒頭に出てくる「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり、沙羅双樹の花の色 盛者必衰の理をあらわす・・・」で知られる沙羅双樹のことです。諸説はあるものの、日本では、ナツツバキやハクウンボクなども沙羅双樹と言われています。平家物語に出て来る沙羅双樹は、釈迦入滅の際、東西南北に2本ずつ生えていたので双樹といわれ、釈迦が死を迎えようとするとき、この木全体が白く色を変えたという伝説があります。

このサラノキは、3月から5月にかけて咲き、花は直径約2.5cm、淡黄色で星の形をしており、ジャスミンのような甘い香りがします。

日本の植物園の中では当園でしか開花は見れませんので、是非ご覧ください。



サラノキの花

直径約2.5cm
星形をしており淡黄色の花
ジャスミンのような香り



サラノキの果実

果実には羽が5枚付いていて、回転をしながら落下します。

【ここがイチオシ!】

サラノキは、平成15年4月にみずの森で初開花し、当園を全国的に有名にした樹木です。原産地でも木に咲いている花を見られるところは少なく、日本ではイメージ絵などでしか知りえなかった花が、本物として間近に観察することができるようになったのです。

平成25年に東京の夢の島熱帯植物園で開花したのが2例目であり、他の植物園で開花したという記録はありません。

数年前に中学の国語の教科書の資料集の中に、当園のサラノキの写真が掲載されました（平家物語の紹介ページで「沙羅双樹」の記載箇所）。



中学校の国語の教科書(資料編)

当園では、仏教で重要とされる木でありますムユウジュとインドボダイジュも育てており、サラノキと合わせて仏教三霊木といえます。



ムユウジュ

マーヤーが出産のため郷里へ帰る途中、美しい花の枝を手にとった瞬間、陣痛がおこり腋の下から男児を産んだとされています。この男児がお釈迦様です。



インドボダイジュ

お釈迦様がインドボダイジュの木の下で悟りを得たと言われています。

※葉が心臓の形に似ていることから、人間の生命の静けさ(悟り)があると信じられています。



サラノキ

お釈迦様が涅槃の際、東西南北に各2本ずつサラノキがあった事で、双樹と言われ、沙羅双樹と言われます。

【他にもこんな見どころが！】

◆平成28年度に、当園に隣接していた群生ハスの大半が消滅しました。そこで、当園では、園内にハスの見どころを作るべく「ハス100鉢プロジェクト」と題して、昨年の4月にハスのレンコン100鉢を参加者に植え付けてもらいました。この植え付けていただいたレンコンは見事に開花し、夏の来園者を楽しませてくれました。

今年度は、新たに100鉢を増加し、昨年の100鉢と合わせ、「ハス200鉢プロジェクト」と題して、見ごたえのある園を目指します。

○今年度のハス植付けの日程

4月18日(水) 常盤小学校4年生と常盤幼稚園園児で植付け

4月21日(土) 市民等による100鉢のハスの植付け



平成29年4月23日植付け状況
(ハス100鉢プロジェクト)



平成29年7月
ハス100鉢プロジェクトによる開花状況

◆デビルズハンドトゥリーは、悪魔の手のような姿の植物です。

平成26年5月に日本で最初に当園で開花して以来、毎年開花しています（他の植物園での開花したという記録はありません。）。

日本では、当園でしか観れませんので、是非ご覧ください。開花予定は4月下旬から5月上旬です。



「デビルズハンドトゥリー」の花
悪魔の手のような容姿からこの名
があります。

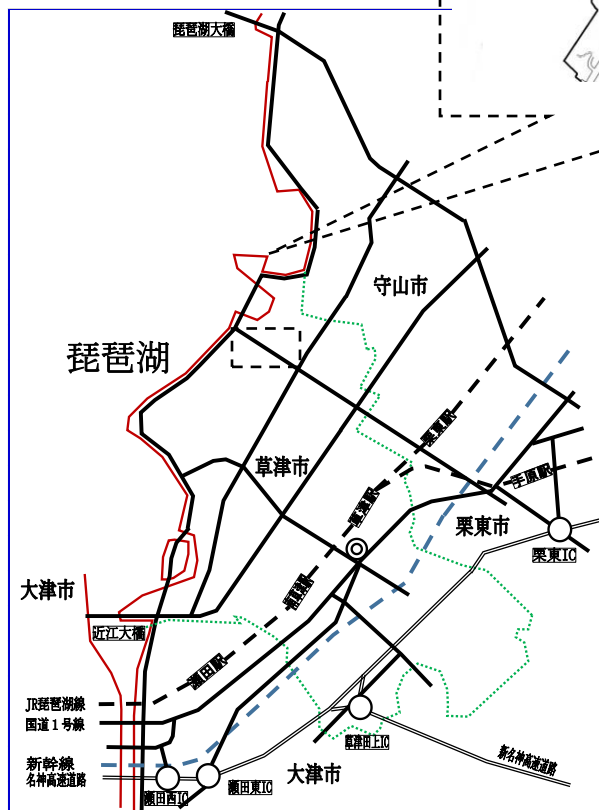
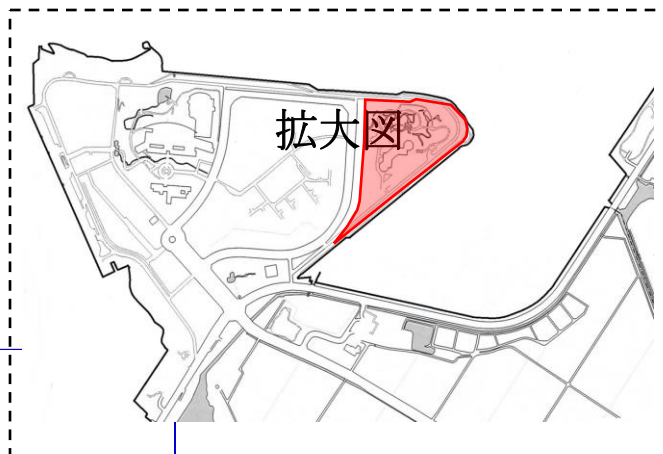


◆みずの森の年間イベント

「春のハンギングバスケット展」、「洋ラン展」など年間を通じて様々なイベントを実施しています。

※詳細は、別紙イベント予定表をご覧ください。

位置図



水生植物公園みずの森

今月のイチオシとは
知事定例会見で県内市町の地域資源を1つずつ紹介。
ねらいは、

- 1 各市町の情報発信力の向上
- 2 より季節感のある話題提供
- 3 県内各地域、ひいては県全体のブランド力の向上
- 4 県と市町の情報発信ネットワークの構築

【問合せ】

草津市立 水生植物公園みずの森

電話：077-568-2332 FAX：077-568-0955

メール mizunomori@ohmitetudo.co.jp